

岡村 徹

学部長 兼グローバル文化学専攻長・教授
博士(比較社会文化)

Toru Okamura

✉ toru.okamura@komatsu-u.ac.jp

研究
Keyword

英語社会言語学、英語の多様性と国際化、言語接触

プロフィール

2000年 豪ニューイングランド大学 言語文化学部 客員研究員
 2004年 九州大学大学院 比較社会文化学府 博士後期課程 修了
 2009年 帝塚山学院大学 リベラルアーツ学部 教授
 2018年 公立小松大学 国際文化交流学部 国際文化交流学科 教授

研究分野

英語学、言語学、社会言語学

所属学会

日本語学会、日本アジア英語学会、オーストラリア学会、日本オセアニア学会、
 オセアニア言語研究会

専門分野・研究分野

言語を地域、階層、年齢、民族、性別との関係で
観察すると興味深い実態が見えてくる

一口に言語と言っても、地域や年齢が異なればその実態は異なります。例えば小倉から新幹線に乗りして関西に来るまでに「～をしてはイケナイ」は実際、様々な変異形を耳にすることができます(イケン、オエン、アカンなど)。またオーストラリアでは英国や米国と異なり、barbecueのことをbarbie, poker machineのことをpokieと言います(-ieは指小辞)。ちなみにマクドナルドもマッキーと呼びます。このような地理的な差異を年齢や性別や民族といった社会的属性と絡めて研究しています。主なフィールドは日本、オーストラリア、パプアニューギニア、ナウル共和国、ノーフォーク諸島です。

研究内容

言語間接触および名詞句階層理論の研究

豪州クイーンズランドの砂糖黍農園で成立したピジン英語は、オーストラリア英語とメラネシアの諸言語が接触して誕生しました。この言語では例えば英語のI ask you.はMi askim yu.となります。miもaskもyuも英語から語彙を借りてきていますが、他動詞を表わす接尾辞-imのようなはたらきは英語にはありません。この要素はメラネシアの在来言語では一般的です。またピジン英語では複数を表示するのにolという形態を名詞とともに使って表しますが、このolと共に起する名詞はいわゆる名詞句階層上の高いところにあるものと相性が良いことがわかってきました。これは自然言語と何ら変わりはありません。この研究は、ことばはなぜ変化するのか、ことばの獲得はどのようになされるのか、ことばはどのようにして誕生するのか、といった諸問題の解決に寄与する方向性を持ちます。



図1. パプアニューギニアのフィマ村での現地調査

言語を社会との関係で
捉える研究

シーズ・地域連携テーマ例

- 英語圏への海外出張と文化理解

論文

- 隠語とピジン語の発達過程に関する考察, 岡村徹, LLO 15: 34-55, The Japanese Association of Linguistics in Oceania, 2023
- ナウル共和国のピジン英語の保持にかかわる諸問題, 岡村徹, 『オーストラリア・アジア研究紀要』6: 1-21, オーストラリア・アジア研究所, 2022
- Relations between the 67th Garrison of the Japanese Imperial Navy and Nauruan Women during the Second World War, Okamura, T., *People and Culture in Oceania*, 37: 31-49, The Japanese Society for Oceanic Studies, 2021
- Preserving the Nauruan language and Pidgin English in Nauru, (Eds.) Okamura, T. & M. Kai, *The Indigenous Language Acquisition, Maintenance, and Loss and Current Language Policies*, pp. 103-123, IGI Global, US, 2020

書籍等出版物

- 『シリーズ地域研究のすすめ ようこそオセアニア世界へ』石森大知・黒崎岳大(編), 分担執筆, 昭和堂, 2023
- The Indigenous Language Acquisition, Maintenance, and Loss and Current Language Policies*, Okamura, T. & M. Kai, IGI Global, 2020
- 『オセアニアの言語的世界』岡村徹/ヤラペア, A. (編), 溪水社, 2013
- Language in Papua New Guinea*, (Ed.) Okamura, Toru., Hituzi Syobo Publishing, 2007
- 『オセアニアのことば・歴史』岡村徹, 溪水社, 2006
- 『はじめてのピジン語: パプアニューギニアのことば』岡村徹, 三修社, 2005

講演・口頭発表等

- 「トク・ピジンの条件節を導くsaposをめぐる」岡村徹, 第41回日本オセアニア学会研究大会, 2024. 03. 24

競争的資金等の研究課題

- 科学研究費補助金(基盤研究C), 「ナウル共和国および豪州プリズベンにおける言語接触・言語保持の研究(1)」研究代表者 岡村徹, 2020-2022年度
- 科学研究費補助金(基盤研究C), 「ナウル共和国および豪州プリズベンにおける言語接触・言語保持の研究(2)」研究代表者 岡村徹, 2023-2025年度

社会貢献活動

- 「世界の都市を歩く」講座(第2弾): 「豪州アーミデール市の魅力: 薪ストーブとともに」(こまつ市民大学, 2024. 07. 20)